科目名	遺伝子生命科学演習 (Seminar in Molecular Genetics)			科目コード	M306
選択区分	選択	履修時期	1後	単位数（時間）	2単位（60時間）
担当教員	檜枝　美紀			関連DP	医①②
授業概要	2コマで一報の欧文論文を読むことを14回行う。その中で、読みとるべき要点を適切かつ効率的に拾いあげることに慣れるように進める。				
授業目標	基礎科学の情報収集および自らの成果報告に欧文論文は必須である。英語読解力と背景専門知識をつけさせるため、専門誌からエピジェネティクスを中心とする生命科学論文を選び、解説を加えて紹介し、内容の理解だけでなく、批判的に読みこなす訓練を進め、自ら研究を実施し、論文を書く準備とする。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内　　容
1・2	欧文論文の読み方概説	生命科学欧文論文について、演習全体の心得や準備、検索の仕方について解説する。 1つめの論文のコピーを予習のため配布する。 ① 当該論文のタイトルとイントロダクションについて、論文分野の背景状況、解決すべき重要な問題、この論文の目的・目標、解決への手段、得られた結果の価値等を解説する。 ② 方法・材料の部では、研究に使われている材料の背景と選択理由、使用技術・方法の原理と限界、具体的操作手順、その方法で分かることと分からないことを含めて理解させる。 ③ 結果の部では、得られた結果から言えることと言えないことを厳密に区別し、結果の妥当性を客観的・批判的な目で評価できるように、学生にも考えさせながら解説する。 ④ 最も著者の主張が出る考察の部では、論文の背景としての既知事実、未知事実、懸案事実等をもとに、本研究で明らかになったことの、当該研究分野への意味・価値評価を解説する。
3～8	論文1～3	1・2回で概説した論文の読み方を、学生自身が実践する。
9～14	論文4～6	学生が自らの興味で選択した論文を読み、解説を行うことを促し、周りからの質問、批判を受けることにより、読み込めている点、理解していない点を明確にしていく。
15～20	論文7～9	学生自らによる読解と解説が大部分となり、教員による解説の必要性が減少することを期し、自ら研究し論文を書く準備とする。学生自らが読解・解説することにより、論文内容に対する批判的な目を養う。
21～30	論文10～14	最終的には、読みとるべき要点を適切かつ効率的に拾いあげる技量と論文内容に対する批判的な目を養い、自ら研究し論文を書く準備とする。

成績評価方法	各授業における論文講読内容の進捗状況・達成度により評価する。
参考図書・文献	各授業の中で欧文論文のコピーを事前に提示・紹介する。
授業時間外の学習について	
関連科目	305 遺伝子生命科学特論
備　　考	必ず全文を読み、自分のことばで説明できるように予習しておくことを求める。